



2024/02/22

養父市地域おこし協力隊活動報告会

# 手作りクラフト地ビール製造による まちおこしをめざした3年間



朝倉山椒入り 6本セット

～ 伊織麦酒道場 相澤伊織 ～

2020/10 ～  
2024/03



# 1 活動目標と実施計画

## 協力隊の活動目標(目的)

養父市初の地ビールで魅力発信や訪問者増による地域活性化が最大の目標

- 地元農産物使用ビールの開発、ふるさと納税登録
- ビール工場見学、実習
- 地域OEM地ビール受託製造
- ビールイベントの開催
- 地元旅館、商店、道の駅等での販売
- 地元産ホップ、大麦、麦芽、酵母等の開発
- 工場併設角打ち、ゲストハウス開設
- 廃棄麦芽肥料、飼料の開発

## 当初実施計画

2020/10

- ・ 協力隊就任、工場物件探し

2021/03

- ・ ビール醸造修行、工場施設工事

2021/10

- ・ 醸造免許取得、ビール試作品製造

2022/10

- ・ ビール製造、販売拡大、イベント開催

2023/09

- ・ 特産品開発でまちおこし、協力隊終了



## 2 活動の成果と評価

### 活動の成果

試作品ビール5種完成

1. IPA(苦味)
2. さんしょ(朝倉)
3. 生ホップ(関宮)
4. メロン(大屋)
5. しょうが(関宮)



目標はほぼ達成せずという惨敗の結果に

目標未達はなぜなのか?

少なすぎる成果

何をしていたのか?



## 3 養父市でビールを造るに至った経緯

### 趣味ではじめたビール造り

#### ○クラフトビールキット(2000～)

自分で飲むために酒を造る場合は1%未満  
なら法令上問題なし

#### ○職場有志の試飲会

#### ○仕事と自分の人生への危機(2013～)

#### ○自由な世界とビールの評判(2014～)

#### ○クラフトビールを仕事にしたい



### ビール工場設置の絶対条件

- 許可 施設は完成してからの許可、許可前の試作は不可
- 資金 事前に確保(証明)が必要、取引先も事前確保(契約)が必要
- 場所 食品衛生確保、大型冷蔵庫、作業場排水設備



## 大阪中心に工場物件探し (2018～)

- 賃料が高い
- 用途地域規制
- 近畿圏、地方へ搜索対象拡大

## 地域おこし協力隊制度 の利用(2020.09～)

- なぜ養父市に応募したのか?
- 移住と物件探しの難しさ



・「秘密基地」というキーワードからユニークな取り組みを提案

・地域活性化につながる取り組みの実施

### (5) 養父市でチャレンジする活動(提案型応援事業)

・自分の夢を養父市で叶えるための活動

・地方(田舎)だから出来ることを養父市で実践

## 2. 応募資格

(1) 令和2年4月1日現在で、年齢が20歳以上概ね45歳以下の方。(性別不問)



# 4 酒類製造免許取得への道

## フルーツの里やぶ施設利用に四苦八苦(2021.02～)

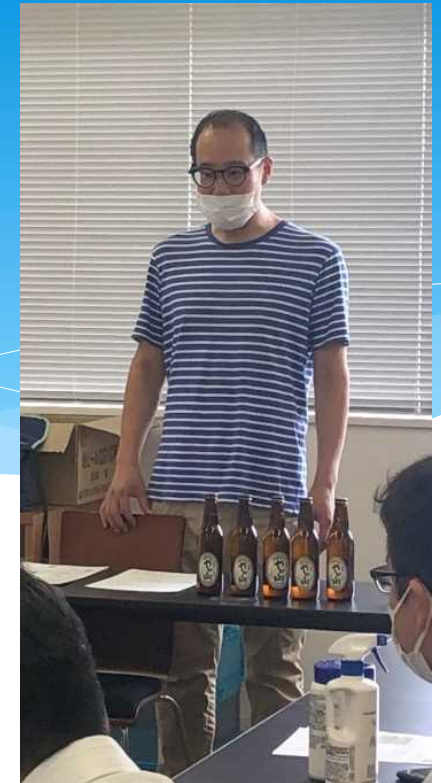
- コロナ禍の影響で活動が停止!
- 国の補助金と施設の目的外使用
- 施設の区画工事ができない!?
- 活動計画の大幅遅延
- 関宮まちづくり協議会の活動





## 酒類製造免許取得は予想だにしない 困難の連続(2022.02～)

- 免許の厳格な仮調査、家屋登記との書面整合性
- 土地登記とも契約上の問題点が有、契約時の賃貸契約書の所在が不明!?
- 前進かと思いきや、登記地目にも問題発覚!
- コロナ禍とウクライナ戦争による半導体不足が直撃!備品調達不可、創業補助金取消の危機!
- 免許審査開始後にも賃貸契約書に錯誤が
- 免許取得目途が立たない、謎多き審査

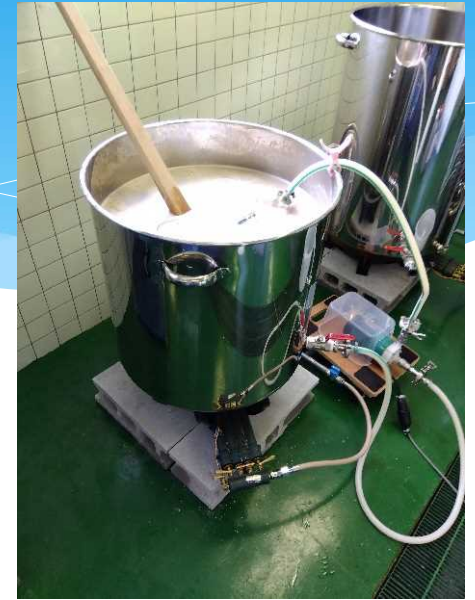




# 5 ビール製造開始とこれから

## 試作ビール製造から量産化へ(2023.06～)

- 免許取得はゴールじゃなく、スタート
- 予定どおりに進まない試作品製造
- 酒類は製造も販売も逃れられない厳しい法令
- やることが多すぎて限界、これからどうするか?
- 計画は遅れ大幅な見直し、目標も未達、暮らしもままならぬ、製造と販売の拡大をめざす
- 協力隊の延長と今後の活動、当面はまちおこしより優先すべきは生活!





# ビール仕込毎の業務の流れ

